

# チャレンジアップ成功体験記

【ものづくり部門】2021年3月受賞 藤本大賀さん  
業績：せんだいデザインリーグ2021 卒業設計日本一決定戦27位

## Q.1 設計コンペティションに応募したきっかけを教えてください。

今回、私が応募したコンペティションは、建築学生の卒業設計によるものでした。自分の提案が全国規模で評価される数少ない機会だったので、応募しました。

## Q.2 応募から出展までの道のり(テーマの発案、製作時間や製作方法など)を教えてください。

作品テーマの着想は、普段の何気ない風景でした、ふと気が付いた時に発見される空間価値を建築的操作によって、誰にでも共有される空間の魅力にできないかと考えました。ゼミの中で話をするうちに、柏崎地域内の無人駅を15駅対象とすることに決めました。現地に何度も足を運び、フィールドワークを繰り返しました。テーマが抽象的で、模範的な提案事例も無かったため、納得のいく提案になるまで多くの時間を費やしました。そして、作品とするために図面の作図、模型の製作、プレゼン資料の用意と、およそ半年かかりました。

## Q.3 実際に作品を制作してみてどうでしたか？

卒業設計やコンペを通して、大きく成長できたと思います。卒業設計は、テーマの構想からプレゼンテーションまで、全て自分主体で行います。発想力や提案する力だけではなく、スケジュール管理の大切さや情報を整理する習慣なども身についたように感じています。

## Q.4 学生コンペにチャレンジして良かったことを教えてください。

全国規模のコンペで、自分の提案や作品が評価されたことは、とても良かったと感じています。結果として、見える形で評価を頂き、これからの励みになると思っています。

## Q.5 最後に、設計コンペに挑戦してみたい学生にアドバイスをお願いします。

一口に設計コンペと言っても、様々なものがあります。設計製図の課題やアルバイト等、時間に追われている日々だと思いますが、自分に合ったコンペを探してみてください。自主的にコンペに挑戦することは、大きな自信につながります。頑張ってください。



本学にて表彰式の様子



柏崎駅でも作品展示されました